

学校だより

学校だより 2月号
令和6年1月31日
発行者 外日角小学校
TEL 283-0040

令和6年能登半島地震より1ヶ月が過ぎようとしています。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、復興に向けて尽力されている方々に感謝の意を表します。また、亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表します。

変化に対応できる能力を育てる

～Society5.0 をたくましく生きるために～

校長 板井 雅春

狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)という人類がこれまで歩んできた社会に次ぐ、5番目の新たな社会を Society5.0 と言います。この社会は、デジタル革新とイノベーション※1を活用することで実現する社会であると言われています。



令和に生きる子どもたちは、生まれたときからパソコンやスマートフォンなどが身近に有り、インターネットを使ったゲームや通信などを自由自在に使いこなして成長しています。ビデオや画像などが簡単に手に入りやすく、自らの興味・関心に応じてさまざまな知識を身に付けることができます。



一方で、信頼性の低い情報を鵜呑みにしたり、顔が見えない相手との通信等で危険な状況に追い込まれたり、通信方法を間違えて大切な友だちから信頼を失うなど負の部分も多く有ります。さらに、多くの人と話し合い協働することが苦手で、知識はあるがコミュニケーションがうまく取れず、人間関係を築く力が身につかずに大人になってしまうことも心配されます。

令和の時代は、これまで人類が培ってきた文化や伝統に加えて、新たな価値観やものが次々に創り出されることでしょう。AI(ロボット)が出現し私たちの生活そのものが予想を超えるスピードで変化していくと言われています。

こうした時代を生きる子どもたちには、コミュニケーション能力と自らの考えを発信できる表現力が必要です。そのために、多くの体験を通して確実な知識や技能を身につけ、さまざまな人と関わり、価値や考えに触れ、深く考えることが大切です。

本校では、これまでの教育で培ってきた良さを継承し、**学校教育目標『自ら考えともに学び、心豊かにたくましく生きる外小っ子の育成』**
カリマネの柱『生き生きと自分の思いを表現する児童の育成』
をめざしながら、新しい環境のなかで子どもたちがたくましく幸せに生きるために必要な能力を育てていきたいと考えます。

※1 イノベーションとは、モノやサービス、仕組みなどに新しい考え方や技術を採用し、新しい価値を生み出して社会を変革することです。従来、イノベーションは「技術革新」と同義とされてきましたが、現在は技術に限定せず、サービスやビジネスモデルなどの幅広い事柄の革新に用いられています。